

「あかちゃんてね」(J491ホ)

星川 ひろ子/著 星川 治雄/著 小学館

みんなは赤ちゃんが一年間でどれくらい大きくなるか知ってるかな？
うまれたばかりの赤ちゃんが大きくなる様子をお姉ちゃんが見守っています。
ママを取られちゃってさびしい時もああるけど、お姉ちゃんにとって赤ちゃんは、やっぱりかわいいんです！



おはなしの庭 (冬のおはなし会)

日時：12月16日(日) 午後2:30から(30分くらい)
内容：東京子ども図書館の浅見和子さん(市内在住)によるすばなし
場所：中央図書館 4階 会議室
対象：小学生から 定員：なし 費用：無料 申込み：不要



お休みのお知らせ

平成30年12月17日(月)～平成31年1月4日(金)は休館！
図書館システムの入替えと蔵書点検を行うために休館します。
この間はインターネットでの蔵書検索などもできなくなります。
ご理解とご協力をお願いいたします。

【中央図書館】

☆12月☆3・10・17～31日 ☆1月☆1～4・7・15・21・28・31日

【狭山台図書館】

☆12月☆10・17～31日 ☆1月☆1～4・15・28・31日



狭山市立図書館

中央図書館 ☎04-2954-4646
狭山台図書館 ☎04-2958-3801

狭山市公式HP
<http://www.city.sayama.saitama.jp/>

毎月23日は「家庭読書の日」
狭山市教育委員会



よむぞうタイムズ

13号

3年生 4年生

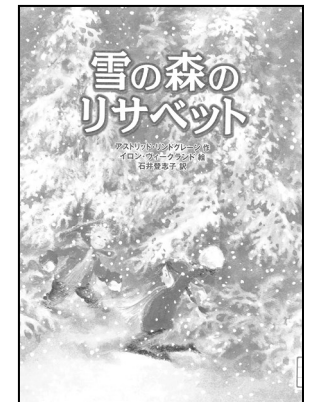
狭山市立図書館 2018.12.1発行

みんなにはきょうだいはいるかな？
ケンカをすることもああるけれど、力を合わせれば
1人でできないことだってのりこえられる！
今回は「きょうだい」のおはなしを集めたよ。
きょうだいがいる子もいない子も読んでみてね。



「雪の森のリサベット」(JSリ)

アストリッド・リンドグレン/作
イロン・ヴィークランド/絵 石井 登志子/訳
徳間書店



リサベットはお手伝いさんといっしょにクリスマスの買い物へ出かけました。姉のマディケンがかぜをひいてしまい家でおるすばんです。
買い物中、リサベットはふざけて知らない人のそりに乗ってしまい、森に置き去りにされてしまいます。寒い雪の中でひとりぼっち…。リサベットはどうになってしまうのでしょうか。

リサベットたちの話はほかにもあります。
こちらをあわせて読んでみてね！

「おもしろ荘のリサベット」(JSリ)
「おもしろ荘の子どもたち」(JSリ/JMリ)
「川のほとりのおもしろ荘」(JSリ/JMリ)
「クリスマスまつりリサベット」(JBリ)
岩波書店



「世界一の三人きょうだい」(JSメ)

グードルン・メプス/作 はたさわ ゆうこ/訳
山西 ゲンイチ/絵 徳間書店

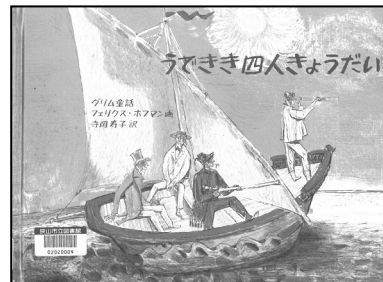


パパとママが出かけてしまうので、マキシは弟のレオンといっしょにお兄ちゃんのアパートにとまることになりました。お兄ちゃんの家は楽しいことがいっぱい。朝ごはんを作ったり、大学でじゅぎょうをうけたり、三人のドタバタな一週間がはじまります！

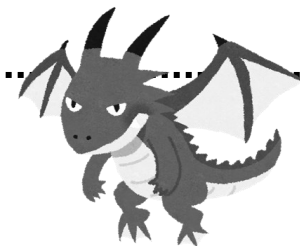


「うできき四人きょうだい」(EJホ)

グリム/著 フェリクス・ホフマン/画
寺岡 寿子/訳 福音館書店



仕事をおぼえるために家を出た四人の兄弟は、どろぼう、星のぞき、かりゅうど、仕立て屋になってもどってきましました。それからまもなくして、国のおひめさまがりゅうにさらわれてしまいました。でも、兄弟たちが力を合わせればおひめさまだって助けられるはず！



「しろくまだって」(JPサ)

齊藤 洋/作 高畠 純/絵
小峰書店



マルクとカールはしろくまの兄弟ですが、二本足で歩けるし、人の言葉だって話せます。ふたりは町に出ることを決意しました。町の人たちははじめはびっくりしましたが、「人間がしろくまのぬいぐるみをきている」と思いこんでいるようです。ふたりはたくはいびん人間のふりをして宅配便屋さんとしてはたらき始めたところ、あっという間に町のにんきものに！



「玉子の卵焼き」(JPカ)

上條 さなえ/作 陣崎 草子/絵 文溪堂

としひで たまご
俊英にはふたごの妹玉子がありますが、ふたりはあんまりにてません。玉子は勉強も運動もできないし、すぐ友だちとけんかします。俊彦にとって妹はなやみのタネでした。ある日、玉子は「うちの卵はど〜れ？」という卵の食べくらべ大会に出場することを決意します。玉子のがんばりが、家族の心を動かしていきます。



「大力のワーニャ」(JSプ/JMプ)

オトフリート・プロイスラー/作
大塚 勇三/訳 学研/岩波書店

ワーニャは三人兄弟の末っ子です。とほうもないなまけものですが、森で出会った老人に「おまえは皇帝になれる」と言われます。そのためには、7年間かまどの上でねてくらさなくてははいけません。やがて、ワーニャはとてつもない力を手に入れ、皇帝になるための旅に出ます。旅先では人々を苦しめるかいぶつたちが待ちうけていて…。



「子どものときに読みたい本100冊」(さやまの100冊)は教育委員会がおすすめしている本です。